

ぼん
こども版

佐賀市こども計画

令和8年度～令和11年度

Saga
City

こども・若者の夢や希望がふくらみ、
自分色の未来が輝くまち“さが”

令和8年3月
佐賀市

佐賀市こども計画ってなに？



佐賀市には、
多くのこどもがいます。
そして、一人ひとりに、
健康で、幸せに、自分らしく
育つ権利があります。
もちろんあなたも
その一人です。

ひとりひとりの権利

佐賀市では、市のこどもたち
みんなが、その権利を
守られながら、
幸せにいらしていただける社会を
めざして、令和8年4月から
始まる新しい計画を
つくりました。

その、新しい計画が

佐賀市こども計画

大切にしたいのは

計画で、一番大切に
したいのは、こどもにとって
もっともよいことは何かを、
こどもの立場でいっしょに
考えて、その幸せを
佐賀市全体で支えていく
ことです。

基本理念

「基本理念」は、この計画で「こうなったらいいね」と決めた、一番大きな目標のことです。

こども・若者の夢や希望がふくらみ、
自分色の未来が輝くまち“さが”

すべてのこどもが安心して夢や希望を描き、
自分らしく可能性を広げることができる社会を目指します。

この基本理念は、こどもたちみんなの意見の中から「夢や希望」「自分らしさ」「やりたいことがかなう」などの「こどもの幸せ」キーワードを入れて決めました。

こどもたちの意見をきいたよ。



基本的な視点

「基本的な視点」は、計画で決めたことを進める時に、大切にしていく見方や考え方のことです。
この計画では、5つの「基本的な視点」を決めています。

1

子どもを権利の主体
として尊重します

子どもには、生まれた時から、元気に育ち、幸せに生きる権利があります。
全ての子どもの権利を、市民のみんなで大切にします。

2

多様性を尊重した
共生社会を目指します

一人ひとりの個性や考え方が違うということを認め合います。
お互いを思いやり、みんなが自分らしく幸せに暮らしていけるまちをつくりまします。

3

子どもの主体性を
育みます

子どもたちが、自ら学び、自分で考え、行動できるようにします。
誰もが自分で未来を切り開いていけるよう、まち全体で応援します。

4

社会全体で子どもを育む
まちづくりを進めます

地域が一つになって、子どもたちの笑顔と安全を見守ります。
子どもだけでなく、子育てするおとなも一緒に成長できるまちにしていまします。

5

子どもにとって
もっともよいことを考えます

子どもが意見を言いやすく、社会や学校でルールを決める話し合いにも参加できるようにしていきます。おとなは、子どもの気持ちも考えて、子どもにとってもっともよいことを考えます。

こどもの権利

こどもは、生まれたときから、一人ひとりが幸せに生きていく権利を持っています。その権利を守るための国際的なルールが「子どもの権利条約」で、日本をはじめとする196の国と地域が守ることを宣言しています。

子どもの権利条約 4つの原則



1 差別の禁止

1

あなたは、性別、障がい、家庭の事情など、どのような理由によっても、差別されることはありません。



2 子どもにもっともよいことを

2

あなたに関することが決められ、行われる時には、「あなたにとって一番大切なことや、一番よいことは何か」を、第一に考えてもらえます。



3 生きる権利・育つ権利

3

あなたは、かけがえのない存在として個性が尊重され、医療・教育などを受け、安心して成長することができます。



4 意見を表す権利

4

あなたは、自分の意見を自由に伝えることができます。そしておとなは、その意見を、一人ひとりの年れいや成長段階に応じて大切に扱います。

基本目標 1 こどもの権利を大切にする

とりくみ 取組1 こどもの権利を大切にする

子ども一人ひとりが大切な存在であることを理解し、社会全体で共有していきます。

すべての人がお互いを尊重し、違いを認め合いながら、それぞれの個性や力を発揮できる社会を目指します。

- ① こどもの権利について、みんなに知ってもらう
- ② こどもが困ったときに助け、権利をしっかり守る
- ③ こどもや若者が自分の意見を言ったり、社会の活動に参加するチャンスを増やす



こども版 パブリックコメントの意見



- ・子どもにも権利があることが分かった。
- ・こどもの権利などをちゃんと知りたいです。
- ・みんな平等にできたらと思います。
- ・大人だけでなくこどもも意見を言える場があるのはとてもいいと思います。

とりくみ 取組2 いろいろな遊びや体験、活躍できるチャンスをつくる

こどもがさまざまな遊びや体験に参加できる機会をつくり、豊かな心や主体性、協調性を育てます。

- ① 遊びや、自然・文化などの体験ができる場所を増やす
- ② 早寝早起きや運動など、健康的な生活習慣を身につけられるようにする
- ③ 「男だから」「女だから」と決めつけず、みんなが自分らしく可能性を広げられるようにする
- ④ 外国から来た家庭のこどもや若者をサポートする

- ・ いろいろな遊びや体験をするためには、公園や遊び場をもっと増やした方がよいと思いました。
- ・ 地元の人たちと交流する場所を作ってほしい。
- ・ 外国のこどもたちと交流する機会や、時間が欲しいです。
- ・ 住んでいる地域だけではなく、市外や県外の年齢問わずいろんな人と交流することで自分の意見を言いやすくなったり幅広い視野を持てると思います。

こども版
パブリックコメントの意見



とりくみ 取組3 わかもの けんこう いりょう ささ 子どもや若者の健康と医療をずっと支える

にんしん き こそだ き あんしん す きめ め しえん おこな
妊娠期から子育て期まで、安心して過ごせるよう切れ目のない支援を行います。

また、かてい じょうきょう おう 家庭ごとの状況に応じて、こま ていきょう きめ細かなサービスを提供します。

- ① あか なか とき ちい 赤ちゃんがお腹にいる時から小さな子どものころまで、けんこう あんぜん す おうえん 健康で安全に過ごせるよう応援する
- ② しょうがくせい おとな 小学生から大人になるまで、ただ ちしき けんこう 正しい知識で健康づくりができるようにする
- ③ きゅう びょうき 急な病気やケガの時に、いしゃ すぐにお医者さんにみてもらえる体制をつくる
- ④ げん き そだ おや なや き 子どもが元気に育つように、親の悩みを聞いてサポートする



とりくみ 取組4 たす ひつよう かぞく おうえん 助けが必要な子どもや家族を応援する

しょう びょうき かてい じょうきょう こんなん かか 障がいや病気、家庭の状況などにより困難を抱える子どもがしょうらい かのうせい うしな 将来の可能性を失うことのないよう、

ひとり じょうきょう おう しえんたいせい せいび 一人ひとりの状況に応じた支援体制を整備します。

- ① しょう 障がいがあったり、いりょう ひつよう ささ 医療のケアが必要な子どもを支える
- ② かね こま かぞく お金のことで困っている子どもや家族をサポートする
- ③ ぎゃくたい かぞく せわ たす 子どもへの虐待をふせぎ、家族の世話をしている子ども（ヤングケアラー）を助ける
- ④ なや こま たす いじめや悩みで困っている子どもを助ける

こども版

パブリックコメントの意見



- ・なか ぼく かあ けんこう まも おなかの中にいるときから、僕たちとお母さんの健康を守っていることについて
し 知りませんでした。
- ・しょう びょうき ひと かんが おも 障がいや病気がある人にどうしたらいいか考えることがいいと思います。

とくみ 取組5 子どものわかもの、子育てをこぞだする人にやさしいまちをつくる

とうげこう みまも 安全で安心な環境づくりを進めます。

こどもの居場所づくりを応援し、人とのつながりの中で自己肯定感や主体性を育む環境をつくりま

- ① 交通事故や犯罪から子どもを守り、安全なまちにする
- ② 歩道や公園などをきれいで使いやすくする
- ③ 学校や地域の人、市役所が協力して子どもを育てる
- ④ 子どもがホッとできる、安心な居場所をつくる

子ども版
パブリックコメントの意見



- ・信号がないところがあるのでつけてほしいです。
- ・公園がない地域に、安心して遊べる公園を作ってほしいです。
- ・冬は暗くなるのが早く、こわいから明かりを増やしてほしい。
- ・計画はとてもしっかり思う。「まち全体で子どもを守る」というのはどういうことか知りたい。

とりにくみ こそだ ひと おうえん 取組6 子育てをしている人を応援する

こそだ ひと あんしん せいかつ じゅうじつ ちいき ささ あ けいざいてき ふ たん
子育てをしている人が安心して生活できるよう、サービスの充実や地域での支え合い、経済的負担を

かる とりにくみ おこな
軽くする取組などを行います。

- ① しごと こそだ しゃかいぜんたい おうえん
仕事をしながらでも子育てができるよう、社会全体で応援する
- ② ちいき たす あ こそだ おうえん
地域のみんなで助け合い、子育てを応援する
- ③ とう かあ かてい そうだん かね めん
お父さんかお母さんしかいない家庭を、相談やお金の面でサポートする
- ④ こそだ きょういく かね ふたん しやくしょ てつづ てま かる
子育てや教育にかかるお金の負担や、市役所などでの手続きの手間を軽くする

- ・ こどもだけでなく親まで支えてくれるとうれしいです。大人になった時にも支えてくれたらいいと思います。
- ・ こどもが幸せになるには親への支援も忘れてはいけないと思う。
- ・ お母さんやお父さんは大変そうなので、支援金を出したり、相談することができ環境を作っていくという活動はとてもよいと思いました。
- ・ お金のサポートは賛成です。仕事の負担を減らすには、1時間あたりの給料を多くし、働く日数・時間が少なくてもよいようにした方がいいと思います。

こども版
パブリックコメントの意見



基本目標 3 年齢や成長にあわせて応援する

とりくみ 取組7 生まれる前から小さな子どもへの応援



子どもが生まれる前、生まれてすぐから、小さい子どもまで、母子の健康を守り、安心して子育てがで

きるようにします。

小さなときから健やかな成長を支え、小学校へ進むときにも不安などがないように応援します。

- ① 子どもが生まれる前、生まれてすぐ、そのあとも、ずっとお母さん・お父さんを助ける
- ② 赤ちゃんや小さな子どもが元気に育つ環境をつくる
- ③ 幼稚園や保育園の先生も、子どもが楽しく学べるように努力する
- ④ 特別なサポートが必要な小さな子どもと家族を助ける



子ども版 パブリックコメントの意見



- ・母子ともに楽しく過ごせるようにする取組は、家族みんなが安心できるとても良い計画だと思います。
- ・親子が気軽に集まって遊んだりお話ししたりできる場所を過ごしやすい、よくしていくというのはとてもいいと思うのですが、うちの近くにも作ってもらえたらと思います。

基本目標 3 年齢や成長にあわせて応援する

とりくみ 取組8 小学生・中学生・中学校卒業後への応援

多様な学びや体験を通して、自分や他の人を大切にしながら成長できる力を育みます。

安心して学び、過ごせる環境づくりを進めます。

- ① 自分で考え、行動し、生きる力を身につけられるような教育をする
- ② いじめや、不登校で悩んでいるこどもをしっかりとサポートする
- ③ こどもや若者の意見を聞きながら、放課後などに過ごしやすい居場所をつくる



とりくみ 取組9 若者への応援

進学や就職など将来の夢を支えるとともに、若者が自分に合った生き方を選ぶよう支援します。

悩みや不安を早いうちに相談できるようにして、活躍できる環境づくりを進めます。

- ① 若者が自分の夢や希望する生き方を選ぶようにする
- ② 悩みや不安を持っている若者や、その家族の相談にのる



こども版 パブリックコメントの意見



- ・一人ひとりを大切にして、自分の居場所があるというのがいいと思いました。
- ・いじめをなくして。いじめられている方も、やる方もいやな気持ちになるから。
- ・職業体験や、ワークショップの場をもうけてほしい。
- ・自分も夢や希望をしっかりと持ちたい。